



# コープリハビリテーション病院・老健あかねだより

コープリハビリテーション病院は、川崎医科大学附属病院と倉敷中央病院との連携病院です。

## 移転から3年を迎えて

### 慌てる毎日から一つのチームへ

新築移転した時、私は看護師1年目が終わろうとする時期だったため、慌てる毎日だったのを覚えています。私自身経験を重ね、病棟としても様々な業務の見直しを経て、業務の運びがスムーズになったように感じます。これからは、今まで以上に職種や病棟間の敷居を取り除き、組織全体が一つのチームとしてまとまれば良いなと思っています。そのため私ができる関わり方を続けていこうと考えています。

コープリハビリテーション病院

看護師 水畑 拓馬

病院の移転と同じ年に回復期の病棟へ入職して、三年が経ちました。

業務に忙しいなかでも、患者さんとの交流を大切にしている病棟スタッフの方々からは日々学ぶことばかりです。リハビリへ取り組む患者さんがわくわくできる目標を一緒に見つけて、その軸から外れないように多職種が協力して介入していくことができるよう今後も学び努力していきたいと思っています。

コープリハビリテーション病院 看護師 西村 幸

### 暮らしに目を向けた支援へ

コープリハビリテーション病院が移転してから3年、私が倉敷医療生活協同組合に入職してから2年が経ちます。現在、医療福祉相談・連携室はソーシャルワーカー5名、事務1名の6名で業務を行っています。

日々の業務の中で私が感じることは、「地域住民の暮らし」に目を向けなければならぬということ。入院される患者様はさまざまな背景の中で地域住民の一人として生活をされている方々です。入院前の生活や今の状態から客観的にアセスメントを行い本人や家族、病棟スタッフとともに今後の生活を考えることの大切さを感じています。

また、入院入所の相談の中には「建物が綺麗だから」「交通の便が良いから」という理由以外にも「健寿協同病院の頃からお世話になっている」「移転する前から建物を知っている」等の理由で連絡を下さる方もいらっしゃいます。移転しても尚、地域住民から愛されている病院であることを感じます。今後も「暮らし」に目を向けた支援ができる様、頑張っていきたいと思っています。

コープリハビリテーション病院 医療ソーシャルワーカー 糸川 菜月



面談中の筆者



退院する患者さんを総出でお見送りする回復期リハビリ病棟

### 自宅リハビリで退院後の生活にも目を向ける

仕事の多忙さだけでなく、やりがいを感じるようになりました。当院の良さである「自宅リハビリ」は、生活に寄り添い、自宅での困り事を具体的に解決する絶好の機会です。加えて、久しぶりの自宅で、患者さんに笑顔や穏やかな表情が出ることも良いことです。病気の治療だけでなく暮らしにも目が向くようになりました。

コープリハビリテーション病院

理学療法士 妹尾 季梨子  
作業療法士 小林 奈々江

### 在宅復帰を支援するスーパー老健へ

新築移転から3年を迎えて、1年目に比べ変化したと感じることは入退所数の増加だと思えます。老健の機能としては在宅復帰を支援する・病院と家庭を継ぐという役割があります。入退所数が増えたことで大変だとは思いますが、その役割を果たしていると感じます。また、以前よりも在宅復帰に向け支援するという意識を持ちやすくなり、ケアプランの立案時在宅復帰に向けてどのような計画を立てればいいのか、その方に合った個別の視点で考えることが出来るようになってきたと思えます。

老健あかね 介護福祉士 塚本 光

### 喜んでいただける食事の提供を目指して

「温かい料理・冷たい料理を適温で提供したい」という栄養科スタッフの願いから、移転と同時に温冷配膳車を導入していただきました。それにより、患者さん・入所者さんの食事アンケートでは「料理が冷めていない」という声が大幅に減少し嬉しく思っています。これからも衛生管理を徹底したおいしい食事・喜んでいただける食事を提供できるよう努めていきたいと思います。

コープリハビリテーション病院

管理栄養士 井上 明美



温冷配膳車と調理場の様子



在宅復帰に向けてご家族にケアプランの説明(筆者右)



理学療法士と作業療法士のコラボで覚醒を改善している様子(左:小林、右:妹尾)

入院や入所に際して、部屋代はいただいていません。

# 好みに合わせて メニューから 選んでいただけます

1月20日より、患者さん・利用者さんの食事満足度向上を目指す取り組みの1つとして選択メニューを再開しました。

平日の昼食・夕食のおかずを好みに合わせて2種類のメニューから選んでいただくことができます。(普通食を食べられている方で、特別な配慮が必要でない方を対象とさせていただきます。)

これからも、患者さん、利用者さんの食欲増進・体力回復につながるよう、また、入院・入所生活の楽しみ方の1つになるように努めます。

ていきたいと思えます。

コープリハビリテーション病院  
管理栄養士 井上 明美

1月 20日(月)	1月 21日(火)	1月 22日(水)	1月 23日(木)	1月 24日(金)
選択メニューは ありません (伊勢海老の刺身)	A. ふりかけ B. ぶり揚げ	A. 串刺しの甘から煮 B. メンチカツ	A. 赤肉の鶏唐揚げ B. 小豆煮物 (「お豆」は「お豆」ではなく「お豆」です)	選択メニューは ありません (管理、経費等)
手配なし A. (お肉のみ) 鶏唐揚げ B. (お肉のみ) 鶏唐揚げ	A. 鶏の唐揚げ B. (お肉のみ) 鶏唐揚げ	カレーライス A. (お肉のみ) 鶏唐揚げ B. (お肉のみ) 鶏唐揚げ	A. 豚肉の味噌焼き B. 豚肉の味噌焼き	手配なし A. (お肉のみ) 鶏唐揚げ B. (お肉のみ) 鶏唐揚げ
夕食 A. カニクリームコロッケ	夕食 A. カニクリームコロッケ	夕食 A. カニクリームコロッケ	夕食 A. カニクリームコロッケ	夕食 A. カニクリームコロッケ



A. 白身魚の和風ムニエル B. 白身魚の明太マヨチーズ焼き A. 豚肉の味噌焼き B. 酢豚

# 自宅でも可能な運動で フレイル予防を実践

## 早島支部の新春のつどい

2月8日にオアシス早島で開催された健康教室に参加させて頂きました。70人以上の参加者が集まり、皆さんとても意欲が高く関心を持って参加されていました。健康教室では、フレイルに関する情報提供と自宅でも出来る運動を実演し、参加者と一緒に体操を行いました。

その時だけで終わらないように毎日続けられるような体操を勧めさせて頂きました。椅子が一脚あれば可能なメニューで構成し、内容によっては出来る方、難しい方とおられました。それぞれ負荷量を調整しながら最後まで参加させて頂きました。

参加者にこんなに動けたという達成感とこれからの生活での健康意識を得て頂けたと思います。フレイル対策には、運動を習慣化することが大切なため、この教室で自ら生活を見直す機会にして欲しいです。

コープリハビリテーション病院  
作業療法士 山本 武範



イス一脚からでも始められる運動



1階売店横に飾っています  
来院の際にはぜひお立ち寄りください

# 雑めぐり

コープリハビリテーション病院・老健あかねも協賛しています。

○お問い合わせ先  
倉敷医療生活協同組合  
コープリハビリテーション病院  
老人保健施設 老健あかね  
TEL 086-444-3212 (代表)  
受付時間 平日 9:00~16:30  
土曜日 9:00~12:00  
(日祝・年末年始を除く)  
〒712-8057  
倉敷市水島東千鳥町 1-60  
ホームページ: <http://coopreha.jp/>  
メールアドレス: [info@coopreha.jp](mailto:info@coopreha.jp)  
広報委員会  
発行責任者 笹舘 勝人

	外来	装具 外来	歯科	短時間 通所 リハビリ	短期集中 健幸アップ 教室	訪問 リハビリ	通所 リハビリ
診療時間	午前 9:00~ 12:30	14:30~ 15:00	午後	9:00~ 16:50	9:30~ 11:00		9:00~ 16:00
月				○		○	○
火	渡辺	(予約制)	(予約制)	○		○	○
水	川村			○		○	○
木	太田		(予約制)	○		○	○
金	飯塚			○		○	○
土						○	○
相談 受付時間	平日	9:00~12:00	13:30~16:30				
	土曜日	9:00~12:00					
	日・祝日	休み					



新入職員紹介



コープリハビリテーション病院  
事務課  
秀島 理恵

老健あかねは、通所リハビリ・訪問リハビリ・短時間通所リハビリとの連携をしています。